

未来を拓く新国家戦略 「技術と人への大胆な投資」

この国難を乗り切るためには、これまでの延長線上ではない、「新たな挑戦」へと踏み出さねばならないと痛感します。

それは、**未来を拓く国家戦略「技術と人への大胆な投資」**です。

世界の誰よりも先に、未来を創る産業に賭ける。世界の誰よりも真剣に、人間の力を育てる。それが、日本経済を再び力強い成長軌道に乗せる唯一の道だと確信します。

まず第一に、「**技術への投資**」です。

半導体、人工知能、量子技術、ロボティクス、ナノテクノロジー。

この5つの分野を、国家の中核戦略として位置づけ、**10兆円規模の「成長技術投資ファンド」**を創設し、全国に「イノベーション・コア」と呼ばれる次世代研究拠点を整備することを提案したい。ここで民間と大学、そして国と自治体が連携し、日本発の技術を世界へと羽ばたかせていくのです。

第二に、「**未来技術減税の導入**」です。

世界を制する先端産業における研究開発と設備投資に対し、大胆な減税と即時償却を認め、スタートアップや中堅企業も思い切った挑戦ができるよう支援するのです。

第三に、「**人への投資の抜本強化**」です。

STEM分野(※)の博士課程やリスキリングを無償化する「未来人材育成債」を導入し、企業による職業訓練を徹底的に後押しします。

働く一人ひとりが、創造の担い手となる社会へ。これは、**単なる再教育ではありません。人生にもう一度、挑戦のチャンス**を届ける「**社会契約の刷新**」といえるでしょう。

※STEMは、science, technology, engineering and mathematicsの頭文字で、科学・技術・工学・数学の教育分野。

第四は、「**未来インフラへの国家的投資**」です。

自動運転、スマートグリッド、量子通信、脱炭素社会。

こうした分野に**30兆円規模のインフラ投資**を行い、未来の「当たり前」を、今から創っていくのです。

そして最後に強調したいのが、「**分配の再構築**」です。

中間層の所得を引き上げる税制改革と、段階的な最低賃金の引き上げ。そして、**政府が税制優遇を通じて下支えする「支援付き最低賃金保証制度」**の創設。

これは、働く人すべてが尊厳をもって暮らせる社会を実現するための、力強い一歩なのです。



総理補佐官としてTV出演し、説明責任を果たす

国難に立ち向かい、 「未来に誇れる日本」を 創ろう！

「失われた30年」と呼ばれる負の遺産は確かに大きいですが、ピンチはチャンス。

今ここに、「新たな30年」を始めるチャンスがあると確信します。

なぜなら、**この国には世界に誇る技術があるからです。困難に立ち向かう人々の知恵と情熱があるからです。そして何より、この国には、過去の国難を克服した誇りと未来を切り拓く力があるからです。**

変化を恐れず、挑戦を拒まず、日本を再び、世界の希望として輝かせるために。今こそ、歴史を動かす時。

まさしく、「**未来に誇れる日本**」を創る時なのです。

衆議院議員 長島昭久 拝

長島昭久後援会・事務所

TEL:042-319-2118

FAX:042-319-2119

<討議資料> 府中市宮西町4-12-11-2F E-mail:info@nagashima21.net

日々の活動を発信中!



ホームページ

